

記譜プロジェクト「音と身体の記譜研究」

2021 年度活動報告

本年度、「音と身体の記譜研究」プロジェクトでは「リュート・タブラチュアの記譜法を考える—鳴ると記すのあわい」と題した、ルネサンス期のリュート・タブラチュア（奏法譜）に関するワークショップを行う予定である。このワークショップは本来、前年度末に実施を考えていたが、コロナ禍のために無期限延期としたのを、今年度末に改めて企画したものである。

今回のワークショップは、古楽器演奏家、声楽家として活躍されている笠原雅仁氏を講師として招いて行う。笠原氏はすでに前年度末に、延期したワークショップに代えて研究会内で講演をして頂いたが、今回のワークショップはその時の内容におおむね基づいて行われる形となる。

このワークショップの題材であるルネサンス期のリュート・タブラチュアには、休符が記されていない。休符は文章の句読点に相当するが、それが楽譜上に情報として記譜されていないのである。書かれていない情報を、どのように「読む」か。それがこのワークショップにおけるテーマの一つとなる。また、タブラチュアの表面からすぐに読み取ることのできない多声的（ポリフォニック）なテクスチュアをどのように「読む」ということも、もう一つのテーマとなろう。ワークショップのあとは、本プロジェクトの共同研究員である三島郁（音楽学）、本学音楽学部教授・岡田加津子（作曲）と笠原氏とのトークセッションを設け、鳴り響く音響と音を書き記す行為について意見を交換することも予定している。本ワークショップおよびトークセッションの内容については、次号で報告する。報告の最後に、前年度の研究紀要『COMPOST Vol.2』に記すことのできなかつた、オンライン研究会の内容を簡潔に記しておきたい。

本研究プロジェクトでは、2020 年度末（2021 年 2 月）に非常勤研究員、共同研究員によるオンライン研究会を行った。研究会では、共同研究員の研究発表 1 本と各研究員の専門領域と関心に結びついた先行研究の内容紹介（翻訳紹介）4 本を行った。

岡田正樹の研究発表「日本におけるギター・タブラチュアの普及・利用・意味—ポピュラー音楽と楽譜の関係史」は、ギターのいわゆる「タブ譜」が日本で普及した背景と普及によって生じた変化、そしてポピュラー音楽実践においてどのような意味づけ、価値づけがなされたのかということを中心的な課題としており、20 世紀・21 世紀におけるポピュラー音楽における楽譜（ノテーション）の意味を再考することを視野に入れたものであった。調査研究の中間報告として行われたその発表のあらましをここで紹介することは避けておくが、いずれどこかにまとまった形で発表されることを願う。

先行研究の内容紹介は、共同研究員の三島郁、井上航、岡田正樹と報告者の 4 名が行った。三島は Lynette Bowring の“Notation as a transformative technology: orality, literacy and early modern instrumentalists”（2019）を、井上は Rolf Inge Godøy の“Sound-action awareness in music”（2011）、岡田と報告者は Floris Schuiling の“Notation Cultures: Towards an Ethnomusicology of Notation”（2019）について、それぞれ訳文を提示した上で内容を紹介・説明し、その後研究会内で討議を行った。研究会で取り上げた個々の先行研究の概要に関してここでは詳述しないが、今後改めて紹介する機会を持ちたいと考えている。

竹内 直（芸術資源研究センター非常勤研究員）

41. *Toccata* $\text{a} \frac{6}{8}$ M^{K}

G.G. Kapsberger / Libro Primo D'intavolatura di Lauto (Roma 1611)

M. Galilei / Il Primo libro d'Intavolatura di Liuto (Munich 1620)

Libro di Leuto di Giuseppe Antonio Doni (Perugia 17C)

XVI.

BERGAMASCO

A. Piccinini / Intavolatura di Liuto Libro secondo (Bologna 1639)

Romanesche

Intavolature di Chitarrone (Modena 17C)

Sonata $\text{I}^{\text{K}} \frac{3}{4}$

Preludio

G. Zamboni / Sonate d'Intavolatura di Leuto (Lucca 1718)

昨年度末に研究会内で行われた笠原氏の講演配布資料より